

顕彰碑 羽間翁紀恩碑

(所在地)海老江六丁目四 海老江八坂神社境内

海老江で代々庄屋を務めていた羽間家の市右衛

門翁は、明治一二年当時は戸長で、村で発生した

疫病の対策中に、本人が罹病し亡くなった。没後

三〇年、村人が翁の業績を讃えて碑を建てた。



【碑文】

紀 恩 碑

羽間氏撰之西成海老江里大姓藤原氏裔曾我末  
派戦国末帰農来住于此云家世為里正称市右衛  
門翁諱秀榮称伊右衛門又用旧称事父母至孝明  
治初改里正為戸長翁在職前後三十許年終始尽  
心賞状不可勝数明治十二年七月瘧疾大行翁奔  
走閭巷親視患者遂染毒以歿月之七日也年六十  
九官憫惜賜金若干村民如喪父母其平素撫治之  
效皆原于自治躬手鋤犁与細民伍人親而愛之自  
先子時至今屢相往来親知其事嗚呼翁至情所發  
為忠為孝為慈為愛民信而不忘歿後三十年遺愛  
在人以有此举建碑謝恩兼為後鑑矣

楊城大村屯篆額 南岳藤澤恒撰文 黄鵠元書